

赤澤 諭先生:Lancet (2010) 375.2223-2233

**“尿糖をもって糖尿を制す！！”**

**Effects of dapagliflozin in patients with type 2 diabetes who have inadequate glycemic control with metformin: a randomised, double-blind, placebo-controlled trial**

【背景】夢の薬のうたい文句で登場したインクレチン製剤で、糖尿病治療がパラダイムシフトを迎えると大騒ぎをしている、その舌の根も乾かぬうちに、次なる 2 型糖尿病薬 SSC-2 (selective Na-glucose cotransporter 2) 阻害薬の第三相試験の結果が発表されました。尿細管での糖の再吸収を抑えることで、血糖を下げ、体重を減らし、甘いおしっこも排出できる、次なる夢の薬です。

【方法】546 名の HbA1c7-8% の 2 型糖尿病患者に対し、SSC-2 阻害薬; dapagliflozin 2.5mg (n=137)、5mg (n=137)、10mg (n=135)、placebo (n=137) の HbA1c、空腹時血糖、体重などが検討されました。

【結果】dapagliflozin 投与群では、空腹時血糖値が投与 1 週間以降有意に減少し、HbA1c の低下も 8 週間後には安定し、dapagliflozin 10mg で 0.8%、5mg で 0.7% と用量依存的な低下を認めました。体重についても検討した 24 週間用量依存的に減少傾向は持続し、dapagliflozin 10mg で約 3kg の減少を認めました。予想された副作用である、生殖系の感染症は、軽度上昇、尿路系感染症の増加は認めませんでした。検査結果では脱水傾向による BUN、Ht の軽度上昇は認めましたが、腎機能への影響は認めませんでした。

【結論】このように、新たなる夢の薬 SSC-2 阻害薬、次のテーマ抄読会での紹介を予定していた桑原先生の言葉を借りれば、“腎性糖尿で糖尿病を治す”という事になります。確かに、低血糖がなく、体重を減らす夢の薬かもしれませんが、おしっこが甘いのはいかがなものか、と思ってしまうのは私だけでしょうか?? 次々回、桑原先生に、さらに詳しくお話しいただきましょう。(文責 阿比留)